

# 幼小中つながる通信 vol.76

発行：令和 2 年 7 月 20 日 袋井市教育委員会

## 教員の交流が小中をつなげる Part 2

本市では、小学校と中学校の教員の人事交流を積極的に行っています。小学校と中学校の両方を経験することで、教え方や指導の違いに気づくとともに、9 年間で子どもを育てるという大切な視点を理解し、広い視野で目の前の課題に対応することができる教員の育成を目指しています。

周南中学校の春日健之介先生は、現在中学 3 年生の担任をしていますが、3 月までは袋井北小で小学 1 年生の担任をしていました。義務教育の入り口と出口を経験し、今、どんなことを感じているのでしょうか。

### 教員の小中交流



中学3年生の授業をする春日先生

### 小学生ってこんなにできるんだ

小学校に勤めて思ったこと。「小学生ってすごい」です。昨年は 1 年生を担当しましたが、本当にいろいろなことができるので驚きました。幼稚園で年少児のお世話をしたり、失敗を恐れず何にでも挑戦したりする経験が、小学校に入学してから発揮されているのです。おそらく小学校 1 年生は自己肯定感が高いのだと思います。だから、「勉強が好き。もっと勉強したい。」そんな前向きな声を毎日聞きました。

### 幼小中のつながりを意識する

どうすればあんなにいろいろなことができる 1 年生になるのだろう…。その秘密を知りたくて、先日、今井幼稚園に参観に行きました。一度の参観では知ることはできませんでしたが、**自分の目で見る**こと、**知ろうとすることから始まる**と考えています。

せめて中学校の教員は小学校 6 年生を、小学校の教員は年長児を見て、知るべきです。**幼小中のつながりを常に意識し、何がつながっているのかを見て、知ろうとすることが大切です。**

小中を知った今、できるのであれば、幼稚園に勤めてみたいと思う程です。

### 一人ひとりを大切にする

「どの子ども愛されるために望まれて生まれてきた。だからあなたはあなたでいい。」教師として大切にしている思いです。

中学 3 年生はあと 9 か月すると、新たな進路へと旅立ちます。ここまでの一人一人の成長の道のりを想像すると、この職業の尊さを強く感じるとともに、「あなたはあなたでいい」。一人一人を大切にしたい思いがさらに強くなりました。

### 小学校の先生方への感謝と敬意

小学校のことを何も知らない私を、先生方は温かく支えてくれました。今の周南中学校でも「感謝と敬意」の気持ち忘れずに毎日過ごしているのは、袋井北小学校での 3 年間のおかげです。

